

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

86

農林水産課

補助金の名称 (規則・要綱名)	内水面振興対策事業費補助金(養鰻水道敷設替事業)		
	農林水産関係事業補助金交付要綱		
補助事業の概要 及び交付先	老朽化した養鰻水道排水管の敷設替工事を行うことで、うなぎ養殖に必要な矢作川の表流水を安定供給し、生産量の増大と養鰻経営の安定を図る。交付先:一色うなぎ漁業協同組合		
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算
	0円	5,000,000円	5,000,000円
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類
	市単独補助金	継続的補助金	事業費補助金
交付期間	開始年度	H26	終了年度(予定) H30
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切(2018/03/15受理)
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		
	※ 検討していない理由		
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以内である
	※ 補助対象経費の額	30,500,000円	
(3) 人件費補助金 (積算内訳)			
3 今後の方向性	現行のまま補助を継続		
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

86

農林水産課

補助金の名称 (規則・要綱名)	内水面振興対策事業費補助金(養鰻水道敷設替事業)	
	農林水産関係事業補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	1 産業振興 活力と魅力あふれる産業づくり
	項による分類	4 農・水産業
	施策内容による分類	3 生産基盤の整備
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載)	補助終了年度の平成30年度までに養鰻水道布設替の総距離を1,260mまで延長する。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	平成29年度の養鰻水道布設替の距離が、724.3mであった。進捗率 $724.3m \div 1,260m = 57\%$	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	進捗が見られる
⑤補助の恩恵を受ける人(受益者)を記載してください。	直接補助金の恩恵を受ける対象者は、一色うなぎ漁業協同組合の組合員226名であるが、地域ブランドである三河一色産うなぎの生産支援することで消費者へ届けることができる。	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	一色うなぎ漁業協同組合	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	老朽化した養鰻水道の配水管の布設替工事をおこなうことで、うなぎ養殖に必要な矢作川の表流水の安定供給を図ることができ、生産コストの削減や地域ブランドである「一色産うなぎ」の生産を支援することができる。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	補助対象経費の老朽化した養鰻水道の配水管の布設替工事費について、実績報告書と収支報告書の提出を求め、提出書類を審査している。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成23年04月01日
	改定年月日(最終)	平成30年04月01日

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

86

農林水産課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	0円	5,000,000円	5,000,000円	
	補助件数		1件	1件	
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源		5,000,000円	5,000,000円
国庫県費等の名称					

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
B	C	C	B	B	B	B
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	現状維持		養鰻水道がどのくらい必要なのかということを市民はわかりにくい。自治体の問題として水道管、下水道管の布設替えは深刻な問題であり、市としてこういう政策だから補助しているということを明確にし、市民に必要であるということを訴えていかないと理解されない。			
補助金等検討委員会の主な意見						
補助しない年があるのであれば切迫していないのではないかと思います。						
水道管敷設や舗装などで自然の形を変える場合、それを廃止する時にどうするのかを行政は考える必要がある。						
養鰻水道敷設替の全体計画を市民に公開していくことが重要である。						